

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.32 2008年4月号

2年前に公開された、「ユナイテッド93」という映画を最近テレビで見ました。2001年9月11日のアメリカ同時多発テロで、ハイジャックされた4機の旅客機のうち、唯一目的地に到達しなかった旅客機内での話を扱った映画です。話題になった映画ですから、ご覧になった方も多いでしょう。

9.11の同時多発テロに関しては、アメリカ政府の陰謀説など諸説があって本当のところはわからない事件ですよね。特に、アメリカ国防総省に旅客機が突っ込んだとされる件については、同省の建物が低いことなどからジャンボ旅客機をぶつけるのは不可能で、また、現場の残骸が問題の旅客機の残骸とは思われないことなどから、旅客機以外のものをぶつけたアメリカ政府による自作自演という説まであるそうです。同じように、ユナイテッド93便についても、映画では乗客達がハイジャック犯と格闘した末に墜落したことになっていますが、ホワイトハウスを目指していた同便を戦闘機が撃墜したという説もあるそうです。もちろん、本当にそうだったとしても、公式には発表されるはずがありませんけど。JFKの暗殺といい、歴史には必ず暗部があるので、何があっても不思議ではありません。そうそう、第二次世界大戦時の日本軍によるハワイ真珠湾攻撃も、アメリカでは日本による卑怯な奇襲攻撃ということになっているそうですが、実はこれも、大戦に参加する口実を作りたかったアメリカによる陰謀で、アメリカがそのように仕向けたという説もあるそうですね。

そうした歴史の真相はともかく、こうしたテロが繰り返される背景にある「憎しみの連鎖」については、先月の「毎日楽しく」でも書いた「怒り」が原因となっているのは間違いなさそうです。やられたらやり返す、ということが続けていたのでは、いつまでたっても争いは終わりません。でも、やられた方がそこで終わりにするのも、本当に難しいことです。そこに、自然の摂理が仕組んだ人間の業のようなものがあることも、以前、「毎日楽しく」で書きました。

キリスト教には、「右の頬を打たれたら、左の頬も差し出せ」という教えがあったと思いますが、キリスト教徒が多いはずのアメリカのやり方については、「右の頬を打たれたら、ミサイルを打ち込め」という皮肉まであるそうです。何とも笑えない冗談ですよ。

